

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	八尾商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 塚谷 俊介		
	所在地	〒581-0003 大阪府八尾市本町2-2-8		
	担当者	職・氏名	江口 保	
		連絡先	電話番号(直通) : 072-922-1181	
Fax : 072-922-8828				
E-mail : eguchi@yaocci.or.jp				
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和24年5月16日 20名(11名) (平成22年3月31日現在) 八尾市 12,807 (平成18年事業所統計調査による) 9,834 (平成18年事業所統計調査による) 3,040(23.7%) (平成22年3月31日現在)		
については直近の数字を記載のこと				
主な事業概要(定款記載事項等)				
商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 輸出品の原産地証明 商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 博覧会、見本市等の開催・あっせん 商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 社会一般の福祉の増進に資する事業 行政庁から委託を受けた事務 上記のほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業				

各種データ

八尾商工会議所

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	32	230	5	138	30	33	7	1			477	277	社 社
建設業		24	1	25	9	18					77	43	
小売業	2	238		37	19	11	1		1		309	146	
卸売業	1	14	4	11		1	1				32	23	
サービス業	4	278	1	49	57	12					401	200	
その他	1	22	2	24	2	3	1				55	40	
小計	40	806	13	284	117	78	10	1	1	1	1,351	729	
創業		1									1	1	
合計	40	807	13	284	117	78	10	1	1	1	1,352	730	561

その他の内訳

技術

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	4	126	10	194	139	165	35		8	1	682	390	社 社
建設業	1	51		57	80	31	2		2		224	120	
小売業		50	10	51	61	9	4		1		186	102	
卸売業	1	29	2	33	18	4	4		2		93	57	
サービス業	1	82	5	102	177	47	8		7		429	245	
その他		22	3	18	16	9	4				72	59	
小計	7	360	30	455	491	265	57	0	20	1	1,686	973	
創業		10		17						1	28	24	
合計	7	370	30	472	491	265	57	0	20	2	1,714	997	729

その他の内訳

デザイン 事業譲渡

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など
注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

八尾商工会議所

(1) 事業の目標

今年度は、市内小規模事業者が抱える課題の把握と解決、施策のPR・情報提供を継続的に行うため、約1500社を対象として平均2～3回の相談を行うこととし、窓口・巡回相談件数の目標は3,636件とする。また、展示商談会の開催、大手企業との商談会の開催などにより、ものづくり企業のビジネスマッチング促進を図るとともに、地域情報誌の発行による地域商業者の活性化支援に加え、今年度は、地域商品券発行事業の実施や地域力連携拠点事業の推進なども行い、地域活性化事業の強化を図る。各地域活性化事業の推進にあたっては、経営指導員間の連携、情報共有を図り、日頃の巡回・窓口相談とのリンクを強化することで、相談の効果、また地域活性化事業の効果を高める。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

巡回相談については、各種施策や支援事業に関する情報提供、現状についてのヒアリングのほか、マル経融資利用者に対する事後指導、制度融資に関する情報提供などを中心として1,352件の相談を実施。また窓口相談については、金融や税務、労務などを中心に1,714件の相談を実施。地域力連携拠点の応援コーディネーターと連携しながら、創業、経営革新などに関する課題の支援も行なった。相談実施にあたり、朝礼や会議などの実施により情報交換を密にし、関連事業に関する情報共有に努めた。

今年度新たに実施した地域商品券発行事業については、市役所から発送される定額給付金通知に、地域商品券発行に関する案内を同封することで、より効果的な周知を行なうことができた。

また重点事業である展示商談会は、来場者増加を図るため、DM広報を強化。またものづくり企業を基本としてブースを構成するとともに、八尾市産業全体のPR・認知度向上につなげるため、八尾市の商業、農業をPRするコーナーを設け、それぞれPRを行った。

このほか、小規模商業者活性化事業として地域情報誌の発行を行ったが、掲載店舗情報の訴求力向上のため、写真点数を増やすなど、紙面の魅力向上のための工夫を行った。また紙面にWEB版の情報も盛り込み、PRを行った。

(3) 事業を実施した効果

不況の影響で融資に関する相談が多く寄せられたが、制度の説明に加え、適正な借入額や、借入以外での資金繰り改善の方法などについても説明を行なうことで、借入に関する考え方などについての理解を深めることにも役立った。また税務について、関連情報の周知等を通じ、適正な納税意識の高揚にも役立っている。また、各種セミナーや施策の利用、展示会への出展など、相談時に情報提供を行なうことでより理解が深まり、各事業への参加や施策利用に対する意識の向上につながった。

簿記教室については、昨年を上回る多数の参加があった。小規模企業であっても、計数管理の知識が一定レベル必要となるが、その前提となる適正な記帳について、事業者の理解を一層深めることができた。地域商品券については、予定枚数が即日完売となるなど、消費者への周知も行き届き、また大型店を対象から除外することで、地域店での購買を促進することができた。独自サービスを組み合わせる商店街などもあり、商業者の意識向上にもつながった。

展示商談会については、出展募集広報、来場者周知広報ともに強化を行い、16社の新規出展を得るとともに、来場者も目標数を達成することができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

各種事業や施策のPRについて、郵送等の方法によるPRは実施しているが、さまざまな事業があるなかで、各事業に対する理解を深め、参加に結びつけるには限界がある。郵送等の方法に加えて、巡回、窓口相談などの機会を通じて、関連事業の説明を行なうことで、施策や事業の趣旨、必要性がより相手に伝わり、利用や参加の機会が増えてくると考えられる。

また簿記教室については、多くの内容を盛り込んだため、一定レベルの受講者には好評であったが、時間数が不足し、この点で受講者の満足度にばらつきが出た。

地域商品券については、地域小規模店舗への政策的配慮から、大型店を対象外としたが、大型店からの取り扱い希望の声も強く、今後の検討材料である。

展示商談会については、搬入出に混雑があり、出展者からの要望もあるため、出展物配送にかかる支援についても検討を行う。

(5) 来年度への取り組み

各種施策や事業については、各企業の業種や実態に応じた情報提供が必要となる。事業所カルテの作成を進め、企業単位での継続支援のなかで、身近な支援からはじめ、各事業・サービスを関連性を持たせて提案していくことで、利用促進につなげていく。そのため、経営指導員間の情報交換や、経営指導員に対する情報提供を組織的に実施していく。セミナー事業については、参加者の声を参考に、テーマや受講時間の設定について検討を行なっていく。展示商談会については、出展者同士の交流から取引につながるケースもあり、出展者交流会の開催についても具体的な検討を行っていく。また各地域活性化事業の参加をきっかけに、経営指導員による相談事業や、その他施策の活用にもつなげていく。

八尾商工会議所

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

巡回による施策や支援事業に関する情報提供を推し進め、窓口相談の活用を促進するとともに、窓口相談のフォローのための巡回相談を行い、巡回、窓口相談を一連の流れとして進めた。毎朝の朝礼で、当番の指導員が、担当業務に関する情報提供、協力依頼や、寄せられた相談案件に関する留意点などについての報告を行い、情報共有を図り、これらの取り組みにより、各担当者の有するノウハウの共有が進むとともに、地域活性化事業との連動性が高まり、相談の効果も高まった。

新規で取り組んだ地域活性化事業などの影響もあり、相談件数は予定を下回ったが、地域力連携拠点事業との連携により、創業や経営革新など密度の濃い相談支援を進めることができた。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	1,836	1,352	73.6%	90.0	4
窓口相談	相談件数	1,800	1,714	95.2%	90.0	5

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

経営指導員による日頃の巡回、窓口相談のなかで、専門的な知識が必要な高度な課題・問題について、各分野の専門家による適切なアドバイスを実施することで、事業者の課題解決の支援を行なった。相談支援の効果を高められるよう、専門家への相談の前に、経営指導員が状況についてヒアリング、問題の切り分けを行った。専門家への相談について敷居が高いと感じている事業者が多いが、専門家利用の大きなキッカケとして活用していただくことができた。

マル経融資についても、巡回時の情報提供やチラシ、会報紙等による広報を行うことにより、目標を上回る推薦を実施することができ、不況のなか、資金繰りに苦しむ小規模企業の金融面での支援に一定の成果を収めることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
法務相談	継続	件数	12	25	208.3%	90.0	5
経営相談	継続	件数	3	2	66.7%	90.0	4
労務相談	継続	件数	3	8	266.7%	90.0	5
税務相談	継続	件数	170	223	131.2%	90.0	5
特許・商標相談	継続	件数	3	4	133.3%	90.0	5
商業活性化相談	継続	件数	5	5	100.0%	90.0	5
登記相談	継続	件数	2	4	200.0%	90.0	5
金融支援(マル経融資)	継続	推薦件数	60	71	118.3%	90.0	5
金融相談(融資相談会)	継続	件数	44	54	122.7%	90.0	5

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

ものづくり研究会として、ものづくり企業の重要な経営課題である、「付加価値を高める経営手法」をテーマとしたセミナーを実施。難易度が高かったため、また全体での開催回数を4回より1回に変更したことにより、十分な受講者数を得ることができなかったが、受講者からは、今後の経営戦略を立てる上で参考になったと高い評価を得ることができた。

ISO9001セミナーは、当初、参加者数が伸び悩んだが、積極的な情報提供により、目標を上回る参加者数を得ることができ、内部監査員の養成を進めることができた。

また、簿記教室、パソコン記帳セミナーについては、記帳に関する基礎的な知識を習得していただくにあたり、集団指導によって効率的な支援を行うことができた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	八尾ものづくり研究会	継続	参加者数	120	11	9.2%	100.0	3
	ISO9001内部監査員養成セミナー	継続	参加者数	20	25	125.0%	90.0	4
	簿記教室	継続	参加者数	20	34	170.0%	68.0	4
	パソコン記帳セミナー	継続	参加者数	10	7	70.0%	100.0	4

地域活性化事業

支援のポイント・成果

展示商談会事業では、DM広報の強化を図り、来場者数の増加を図るとともに、出展者説明会などで、展示方法のアドバイスを行うなど、1件でも多くのビジネスのキッカケができるようサポートを行った。2日間の来場者は8,769名で、約4,500件の引き合い(名刺交換含む)があるなど、ビジネスチャンスの獲得に強力な支援を行うことができた。

小規模事業者活性化事業では、地域情報誌「SYAON」を発行。消費者目線で誌面構成を見直し、またWeb版と連携することで、訴求力が増し、新たな顧客獲得につながったとの声も寄せられている。

地域商品券発行事業については、八尾市や商店街、市場などとも連携して計画を進め、992店舗の参加を得ることができ、商品券は予定枚数が即日完売。大型店は対象外としたため、地域の小規模店舗での購買を促進することができた。また商品券発行にあわせて独自のサービスを実施する店舗もあるなど、事業者の意識向上にもつなげることができた。地域力連携拠点事業については、経営指導員の窓口・巡回相談事業と連携しながら、応援コーディネータの相談につなげ、260件の相談を実施。新サービスに関するプレスリリース支援を行った企業の案件では数件の新規受注を獲得するなど一定の成果を得ることができた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	展示商談会	継続	来場者数	8,000	8,769	109.6%	84.0	5
	ものづくり受注商談会	継続	参加者数	40	15	37.5%	100.0	4

小規模事業者活性化事業	継続	発行部数	40,000	40,000	100.0%	90.0	5
八尾商業まつり	継続	参加店舗	600	617	102.8%	69.4	4
地域商品券発行	新規	参加店舗	600	998	166.3%	72.4	5
就職フェスタ	継続	来場者数	300	341	113.7%	90.0	4
リサイクル推進事業	継続	支援企業数(八尾)	2	1	50.0%	100.0	4
地域力連携拠点事業推進	新規	相談件数	200	260	130.0%	80.0	5

八尾商工会議所

事業名	展示商談会				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	2002年(開始) ~ 未定年(終了) 今年度 8 年目				
実施期間全体を通じて予定している事業計画	<p>八尾のものづくり企業を中心とした製品・技術を展示・PRし、地域産業をPRするとともに、地域企業のビジネスチャンス拡大を支援することを目的とした展示商談会「ビジネスマッチング博」を開催する。</p> <p>多くの来場者を得て出展企業の紹介を効果的に行うことが出来るよう、大阪市内の企業から来場しやすい「マイドームおおさか」で開催する。</p> <p>また今年度は、東京都大田区で開催する「大阪ビジネスEXPO」にも参画する。</p>				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	<p>ビジネスマッチング博は、本年で8回目の開催。池田銀行、南都銀行の主催による展示商談会との同時開催により、例年多くの企業関係者が会場を訪れ、出展企業との商談が行われている。出展者にとっては、自社製品などをPRし、ビジネスチャンスを拡大するキッカケとして、また出展者、来場者を含め、様々な企業関係者の出会いの場として好評を得ている。</p> <p>また大阪ビジネスEXPOは、大阪東部地区6商工会議所の合同による開催で、昨年東京ビッグサイトで開催し、11,724名の来場者があった。</p>			
本事業の対象となる地域の現状や課題	<p>八尾は、全国有数の工業集積地域であり、工場数、製造品出荷額ともに府内第3位の工業力を有し、優れた技術・製品を有するものづくり企業が多数存在する。しかしながら、それらの多くは中小規模の企業群であり、知名度、信用力の点で不利な状況に置かれている。そうした企業の優れた製品を集結し、八尾の優れた工業力を広くPRしていくことが八尾市産業のイメージアップにもつながり、さらなる活力の向上が図られる。</p>				
目標に対する実績	指標	来場者数(ビジネスマッチング博)			
	目標数値	8000	実績数値	8769	達成率 109.6%
目標	<p>関係機関を通じた広報、DM送付、交通広告の実施など積極的なPR活動を展開して、例年なみの8000名の来場者を得ることにより、出展企業にとっての商談の機会を確保し、また八尾市産業の優れたポイントを多くの人にPRすることにより、八尾市産業全体のイメージアップを図る。</p>				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	<p>河内ものづくりフェア2009(大阪ビジネスEXPO) (4回目)</p> <p>【会期】21年6月4日・5日</p> <p>【会場】大田区産業プラザ</p> <p>【出展規模】15社・団体(八尾) 大阪ビジネスEXPOとして121社</p> <p>【来場者数】5,050名 大阪ビジネスEXPO全体</p> <p>【引き合い件数】4,008件 大阪ビジネスEXPO全体</p> <p>ビジネスマッチング博2009 (8回目)</p> <p>【会期】21年10月15日・16日</p> <p>【会場】マイドームおおさか1階展示場</p> <p>【出展規模】72社・団体</p> <p>【来場者数】8,769名</p> <p>【引き合い件数】4,522件</p>				
マスコミ等に取上げられた回数	<p>計8回 日刊工業新聞(10/14、10/16) 金融タイムス(11/5)</p> <p>建通新聞(10/14、10/20) 日商会議所ニュース(9/11)</p> <p>八尾タイムズ(10/20) 河内新聞(10/5)</p>				
PR方法とその影響	<p>ダイレクトメール、交通広告、新聞広告、新聞折込チラシ、当所機関紙、ホームページ、販促ティッシュ配布、帝国データバンク情報誌への掲載、メール配信、記者クラブへのプレスリリース、共同通信PRワイヤー(メディア関係に特化したメール配信)等、多様な方法での広報活動を実施。昨年を上回る来場者を得ることができた。</p>				
利用者満足度(点)	84				
事業評価	5				
実施した効果	<p>8,769名の来場者が会場を訪れ、4,522件の引き合い(名刺交換を含む)があり、市内企業における今後のビジネスチャンス獲得に一定の成果を収めることができた。また活力ある八尾市産業の特長について、多くの人々に認知していただくことができた。また出展者から、出展企業間でも交流が生まれた、一般ユーザーの反応が確認できたなどの声も寄せられた。出展募集にあたり、案内対象企業数を増やすなど、PRの強化を行い、16社の新規出展を得ることができた。新規出展の事業所については、展示方法などについて積極的に相談を寄せられる企業も多く、事業者の意欲向上にも資することができたと考えている。</p>				

<p>実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み</p>	<p>河内ものづくりフェアについては東京開催での負担が大きい。今後は主催での開催を見合わせ、業界展示会などへの出展支援事業なども含めて検討する必要がある。また、ビジネスマッチング博については、同時開催イベントとの連携強化により、広報活動の効率化を図っていく必要も感じられる。また出展者同士の交流から取引につながるケースもあり、出展者交流会の開催についても具体的な検討を行っていく。</p>																																									
<p>事業全体の収支状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八尾市負担金</td> <td>7,000,000</td> </tr> <tr> <td>大阪東信用金庫負担金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>出展者負担金</td> <td>4,420,000</td> </tr> <tr> <td>協賛金</td> <td>750,000</td> </tr> <tr> <td>大阪府補助金</td> <td>8,560,000</td> </tr> <tr> <td>当所負担額</td> <td>1,395,945</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,125,945</td> </tr> </tbody> </table>	収入		八尾市負担金	7,000,000	大阪東信用金庫負担金	3,000,000	出展者負担金	4,420,000	協賛金	750,000	大阪府補助金	8,560,000	当所負担額	1,395,945	計	25,125,945	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場使用料</td> <td>1,919,013</td> </tr> <tr> <td>会場整備費</td> <td>5,829,000</td> </tr> <tr> <td>広報宣伝費</td> <td>2,429,888</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>2,969,268</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>1,484,757</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>1,128,189</td> </tr> <tr> <td>河内フェア出展負担金</td> <td>2,300,000</td> </tr> <tr> <td>河内フェア諸経費</td> <td>638,000</td> </tr> <tr> <td>河内フェア通信運搬費</td> <td>217,830</td> </tr> <tr> <td>活動費</td> <td>6,210,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,125,945</td> </tr> </tbody> </table>	支出		会場使用料	1,919,013	会場整備費	5,829,000	広報宣伝費	2,429,888	印刷製本費	2,969,268	通信運搬費	1,484,757	雑費	1,128,189	河内フェア出展負担金	2,300,000	河内フェア諸経費	638,000	河内フェア通信運搬費	217,830	活動費	6,210,000	計	25,125,945
収入																																										
八尾市負担金	7,000,000																																									
大阪東信用金庫負担金	3,000,000																																									
出展者負担金	4,420,000																																									
協賛金	750,000																																									
大阪府補助金	8,560,000																																									
当所負担額	1,395,945																																									
計	25,125,945																																									
支出																																										
会場使用料	1,919,013																																									
会場整備費	5,829,000																																									
広報宣伝費	2,429,888																																									
印刷製本費	2,969,268																																									
通信運搬費	1,484,757																																									
雑費	1,128,189																																									
河内フェア出展負担金	2,300,000																																									
河内フェア諸経費	638,000																																									
河内フェア通信運搬費	217,830																																									
活動費	6,210,000																																									
計	25,125,945																																									